

平成20年度第3回岡山市総合政策審議会総務・社会部会会議要録

- 1 日 時 平成20年7月30日(水) 午前10時～12時
- 2 場 所 市役所本庁舎3階 第3会議室
- 3 出席委員 井上部会長、片山副部長、大森委員、貝畑委員、古南委員、高津委員、戸部委員、橋ヶ谷委員、藤井委員、妻鹿委員
- 4 出席職員 総務局長、総務局審議監、人事課長、職員課長他
- 5 議 題 (1) 議員の報酬、期末手当について
(2) 市長、副市長、代表監査委員の給料、期末手当、勤勉手当について
(3) 市長、副市長の退職手当について
- 6 配布資料 [略]

7 会議要録

(主な意見)

- ・今現在の財政赤字になっている部分は、代々の特別職や議員も含めて共同責任がある。そういう意味では減額するのが適当ではないか。
- ・市長というのは、岡山市の代表であるので、その給与がどんどん下がって年収が下がってくると将来やり手がなくなるのではないか。それなりの待遇をしないとやる気も出ないし仕事のレベルも下がってくる。
- ・一般の人には市長に退職金が出ることを知らない人がいるのではないか、一般の市民の人に納得していただくためには、ある程度厳しい減額をしないといけないのではないか。
- ・市長の給料は素案として任期中トータル収入約10%減とする。
(市長給料は8万円減額の1,160,000円、市長退職手当率は65% 55%)
- ・代表監査委員の給料は、市長・副市長と同じく任期中トータル収入ベースで考えるべき。
- ・代表監査委員の給料は据え置くか、下げるとしたら、3%ぐらいまでが妥当である。
- ・議員報酬を減額すれば、若い方で本当にやる気のある政治に参加したいという方が、立候補できにくくなるのではないか。
- ・議員の視察費用や調査費があまり使われていないのは問題ではないか。どんどん視察していいところを岡山に取り入れていただきたい。調査もどんどんやっていくべき。